

中央博サークル （千葉県立中央博物館）実施報告

ねらい

自然誌や歴史に関心のある市民により多くの学習・探究活動の機会を提供することを目的としています。サークル活動は当館の研究員の支援や監修のもと、メンバーが楽しみながら自主的な活動を展開していくことを目指します。これらの活動を通じて、千葉県の自然や歴史、文化の継承にも貢献します。

活動の様子



歴史サークル
現地観察会



歴史サークル
勉強会

参加者の声

【歴史サークル参加者の声】

博物館の歴史サークル活動では会員の自主的な企画もあり、郷土の歴史が一層面白くなってきた。博物館の先生方のサポートも密に受けられ達成感も大きい。展示や聴講だけでなく、市民参加型の幅広い博物館利用法がサークル活動の中にあると感じている。

【もりたん（自然観察会サークル）参加者の声】

鋸山車力道を登り、関東ふれあいの道を下る。皆楽しそう。マテバシイとタブノキの枝の伸び方の違いと葉の見分け方の説明になるほどの声。崖にはイズノシマダイモンジソウやイタビカズラ。花の時期、果の熟す時期にまた来たい。尾根ではネジキのたくさんの蕾に歓声上がる。房州石の話など博物館の平田先生の話が楽しく、皆大満足の1日だった。

成果と課題

【成果】

平成26年3月に始まった中央博サークルは現在8サークルが結成され、226人のサークル員が登録されています。また、11月3日（文化の日）の無料開館日に当館で開催される自然誌フェスタでは、中央博サークルも出展します。ここでは一般客の方にもサークルの展示、体験イベント等を通して活動を紹介しており、幅広い世代が交流しながら千葉の自然と歴史、文化を楽しむ貴重な機会となっています。

【課題】

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年に全てのサークルの活動が休止しました。令和4年には感染症対策実施のもとで館事業が全面再開となりましたが、活動が再開されたサークルは8団体中4団体に留まっています。サークル活動休止後の、サークル員の活動離れが課題になっています。